

第 7 回 新宿の拠点再整備検討委員会

デザイン検討部会の検討状況について

※この資料は、デザイン検討部会での検討をふまえ、とりまとめの構成案として新宿の拠点再整備検討委員会に報告したものです。引き続きデザイン検討部会において構成や言葉等について検討を進めていきます。

I	位置づけ	1
II	新宿の特性	3
III	グランドターミナルの役割	5
IV	交流軸・連携空間のつくり方	6
V	グランドターミナルの主要な建物のつくり方	7
VI	ゾーン別の考え方	8

I 位置づけ

■新宿の拠点再整備方針 (平成30(2018)年3月 東京都・新宿区)



【まちの特性】 多様な都市機能が高度に集積した抜群の拠点性

【ターミナルの特性】 世界一の乗降客数を誇る圧倒的な交通利便性

【まちづくりの方向性】

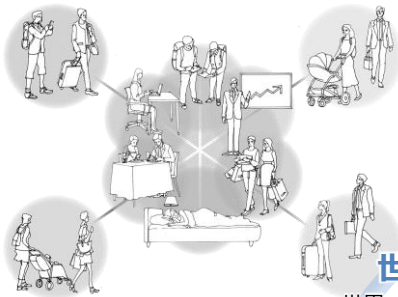
- ①世界一のターミナルにふさわしい機能の充実・強化
- ②駅とまち、まちとまちの回遊性向上
- ③国際競争力の強化に資する機能の導入
- ④周辺地域への展開

(新宿の拠点再整備方針 P3, 4より抜粋)

新宿グランドターミナルのコンセプト

Shinjuku Grand Terminal 新宿グランドターミナル

駅、駅前広場、駅ビル等が有機的に一体化した次世代のターミナル
誰にとっても優しい空間がまちとつながり、
様々な目的を持って訪れる人々の多様な活動にあふれ、
交流・連携・挑戦が生まれる場所



交流

世界一のターミナルでつながる

世界一の乗降客数を誇るターミナルが多様で魅力的なまちの結節点となり、異業種、異文化の垣根を越えて無限の交流を生み出す

新宿
グランドターミナル

連携

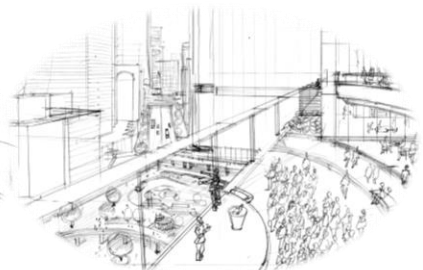
常に新しい何かに触れ合える

新宿に集まり、新宿を行き交う多種多様な「人・文化・情報・技術」の接触が融合を生み、連携することにより、国内外から新宿を訪れる人々の活動の場が次々に広がる

挑戦

ビジネスも、カルチャーも、観光も
更に魅力的に、多くのニーズに応える

交流と連携が進む環境の中で新たな価値やアイデアを発見した人々によってイノベーションの源泉となる挑戦の場を通じて最新の商品やサービス、文化が持続的に生み出される



(新宿拠点再整備方針 P6より抜粋)

■グランドターミナルの再整備方針

交流軸の構築

方針 1 グランドターミナルとまちを「東西骨格軸」でつなぐ
 I. 東西のまちをつなぐデッキを線路上空に新設
 II. 東西骨格軸となる道路を歩行者優先の空間に再編

方針 2 グランドターミナルを一体化して整える
 I. グランドターミナルを一体化するターミナル軸を構築し、まちとつなぐ
 II. グランドターミナルの人の流れを整える
 III. わかりやすく人に優しいグランドターミナルを整える

方針 3 人中心の広場とまちに変える
 I. 歩行者優先の駅前広場に再構成
 II. グランドターミナルへの車両流入を抑制

連携空間の創出

方針 4 グランドターミナルの顔となるプラザ・テラスを整備する
 I. グランドターミナルのシンボルとなる新宿セントラルプラザの整備
 II. テックから地下までを結ぶ新宿テラス (East・West・North) の整備
 III. 新宿テラスからまちの各所に視線が抜ける空間 (新宿View) を確保

方針 5 グランドターミナルに新たな機能を誘導・導入する空間を創出する
 I. 新宿セントラルプラザに公益的な活動交流空間 (新宿ラボ) を創出
 II. 新宿テラスに鉄道沿線の多様な機能を融合する空間 (地域連携ラボ) を創出
 III. グランドターミナルに訪れる人々が繋がるシヨールーム空間を創出
 IV. 安心して過ごせる空間の確保

方針 6 グランドターミナルの各所に人が行きたくなる空間とみどりを創る
 I. 駅がわかるエントランスの創出
 II. 交流軸やエントランスに沿って連携空間を創出
 III. 新宿中央公園と新宿御苑を結びつけるみどりの軸をグランドターミナルの各所に創出

持続的な発展への挑戦

方針 7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す
 I. 西口立体広場のポイド等を継承・発展し、グランドターミナルからまち全体に展開
 II. 新宿セントラルプラザや駅前広場に直して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
 III. 遠方から視認できる、新宿らしいスカイラインの形成

方針 8 誰もがチャレンジできる環境を用意する
 I. 訪れる人々に多様な活動やサービスを提供するラボ機能の導入
 II. オールラウンドに発信を行える多様性を持ったシヨールーム機能の導入
 III. 消費者と直接結び付き、新たな価値を生み出すイノベーション機能の強化
 IV. 人々を新宿に集め続け新たな発信が行われる、国際競争力強化に資する機能の導入
 V. チャレンジヤーを生み出し続ける環境づくり

方針 9 次世代の技術導入の可能性に果敢に挑戦する
 I. 次世代モビリティシステムへの対応
 II. エネルギー地域制御への対応 (エネルギーの多様な面的利用の拡大・連携強化と計画的更新)
 III. 新技術を活用した災害時の対応

方針 10 新宿全体の挑戦に結び付ける
 I. グランドターミナル周辺の段階的な機能更新につなげる
 II. 新宿全体の価値向上につながる、持続可能なエリアマネジメントの推進

グランドターミナルの再編イメージ

交流軸

- 新宿グランドターミナル
- 東西骨格軸
- ターミナル軸
- ターミナルシャフト

連携空間

- 歩行者優先の広場
- 車両系機能 (バス・タクシー乗降場、駐車場出入口等)
- 新宿 セントラルプラザ
- 新宿 テラス
- エントランス

(新宿の拠点再整備方針 P8,9より抜粋)

交流軸 : グランドターミナルをまちと結びつけ、交流を生む歩行者中心のネットワーク

連携空間 : 交流軸の周辺に、新たなビジネス・文化・技術等の連携や多様なまちとの連携を促し、賑わいを生む空間

(新宿の拠点再整備方針 P7より抜粋)

新宿グランドターミナルのコンセプトを実現するため、再整備方針に基づく具体的なまちのつくり方を示す。

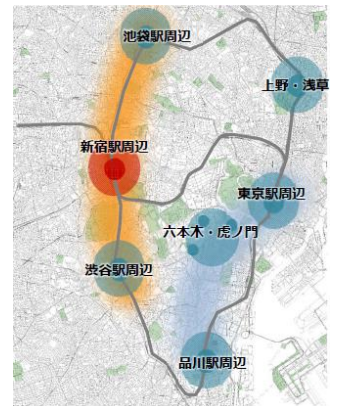
○ 交流軸・連携空間のつくり方

○ グランドターミナルの主要な建物のつくり方 (デザインコード)

II 新宿の特性

■ 東京の拠点としての新宿

- ・ 都内最大の商業集積地
- ・ 日本のビジネスを牽引する超高層ビル街
- ・ 国内外の観光客が最も集まるまち
- ・ 都心部の主要な環状線である山手線と都心と郊外を結ぶ結節点 (7路線8駅の結節)
- ・ 首都高速中央環状線やバスタ新宿の整備による、羽田空港や観光地へのアクセス性の向上



新宿の新たなまちづくり (2017年6月 東京都・新宿区) P3より抜粋

■ 多様なアクティビティが展開されるまち

- 娯楽・文化
- 憩い
- 賑わい
- ビジネス
- 宿泊



思い出横丁



西口駅前広場



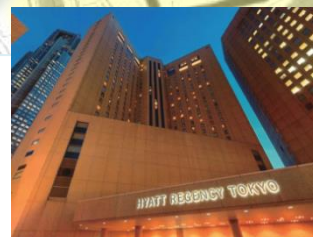
スポーツイベント (新宿中央公園)



野外映画会 (新宿中央公園)



超高層オフィスビル街区



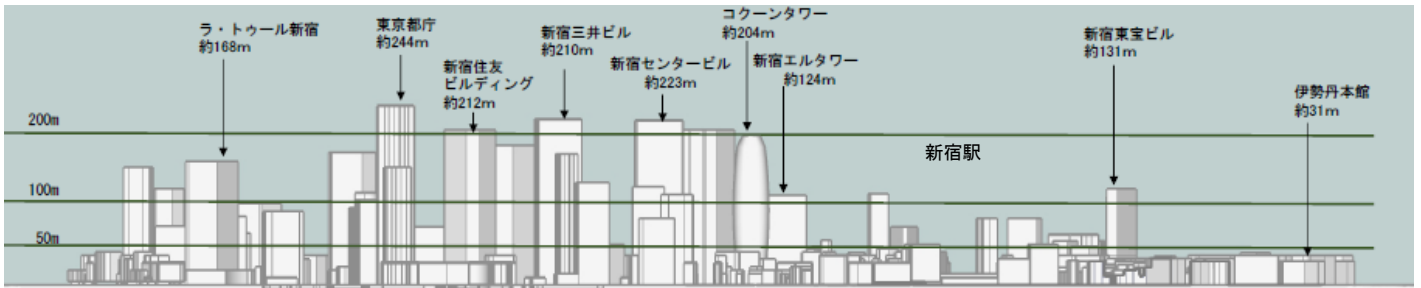
新宿副都心のホテル群



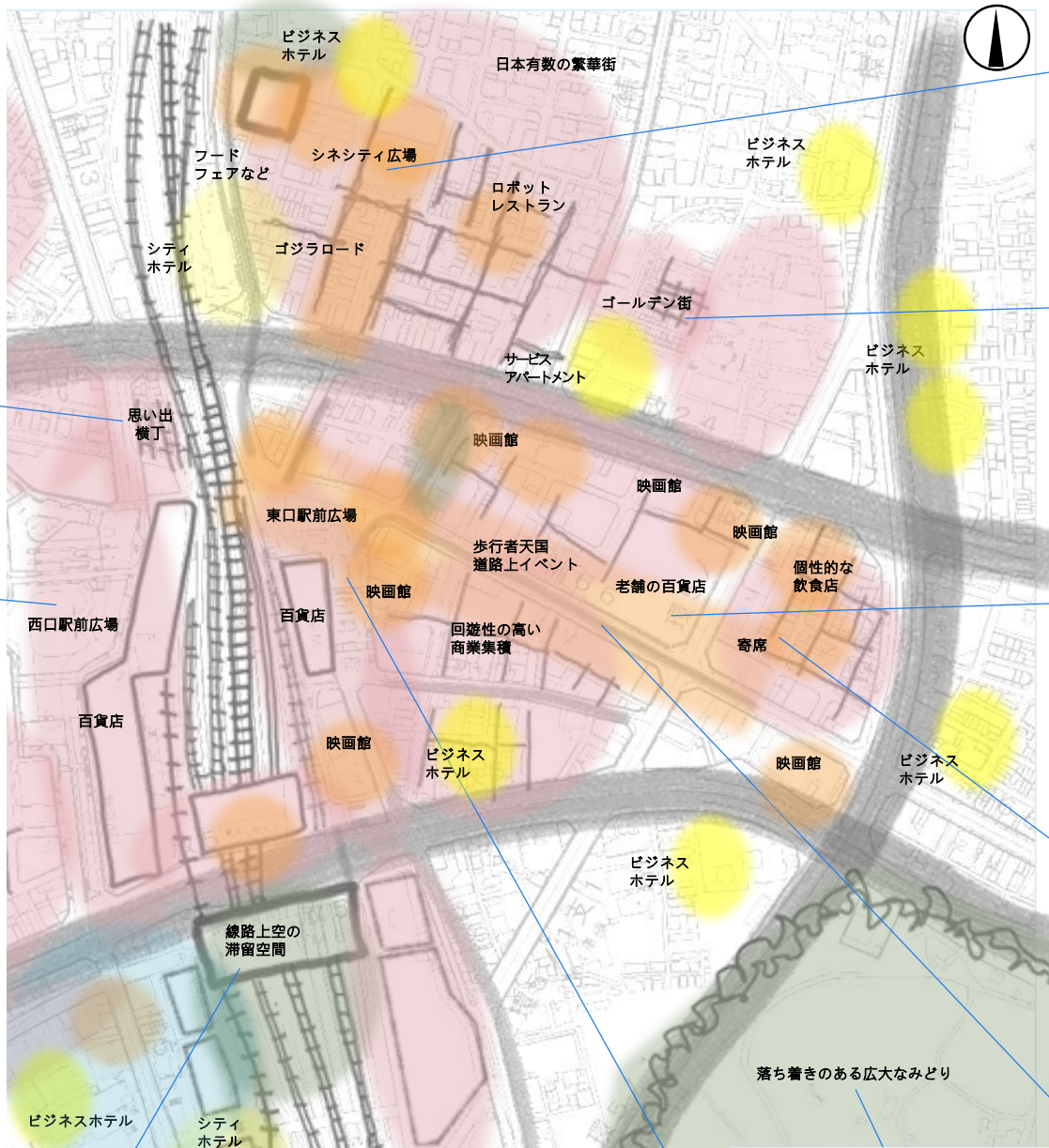
特徴的な超高層ビル

■ 特徴的な超高層ビル群

・ 新宿駅西口側に広がる個性を持った超高層ビル群



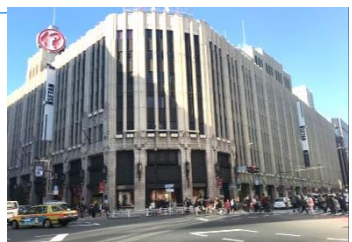
新宿駅周辺の現状と課題
(第5回新宿の拠点再整備検討委員会 資料) P41より抜粋



シネシティ広場



ゴールデン街



老舗の百貨店



寄席



屋外テラス(パスタ新宿)



新宿駅東口駅前広場



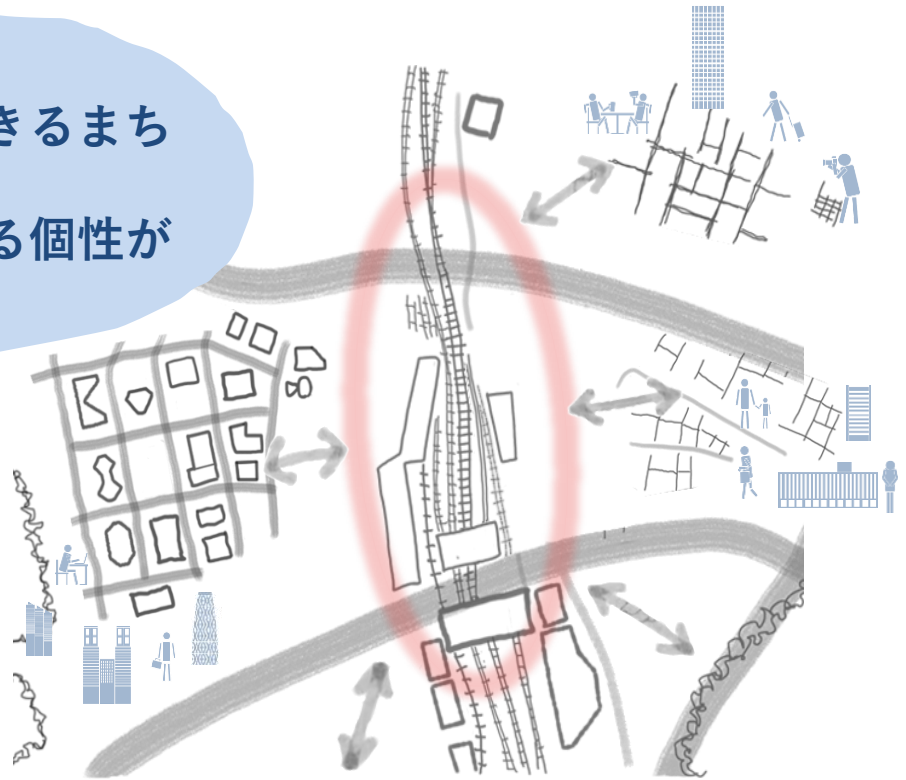
落ち着きのある広大なみどり (新宿御苑)



イベント(新宿通り)

Ⅲ グランドターミナルの役割

新宿は、異なる個性が活きるまち
グランドターミナルは異なる個性が
行き交うところ



駅前広場とテラスは、
異なる個性が出会うところ

その交点となるセントラルプラザは、
異なる個性が集うところ

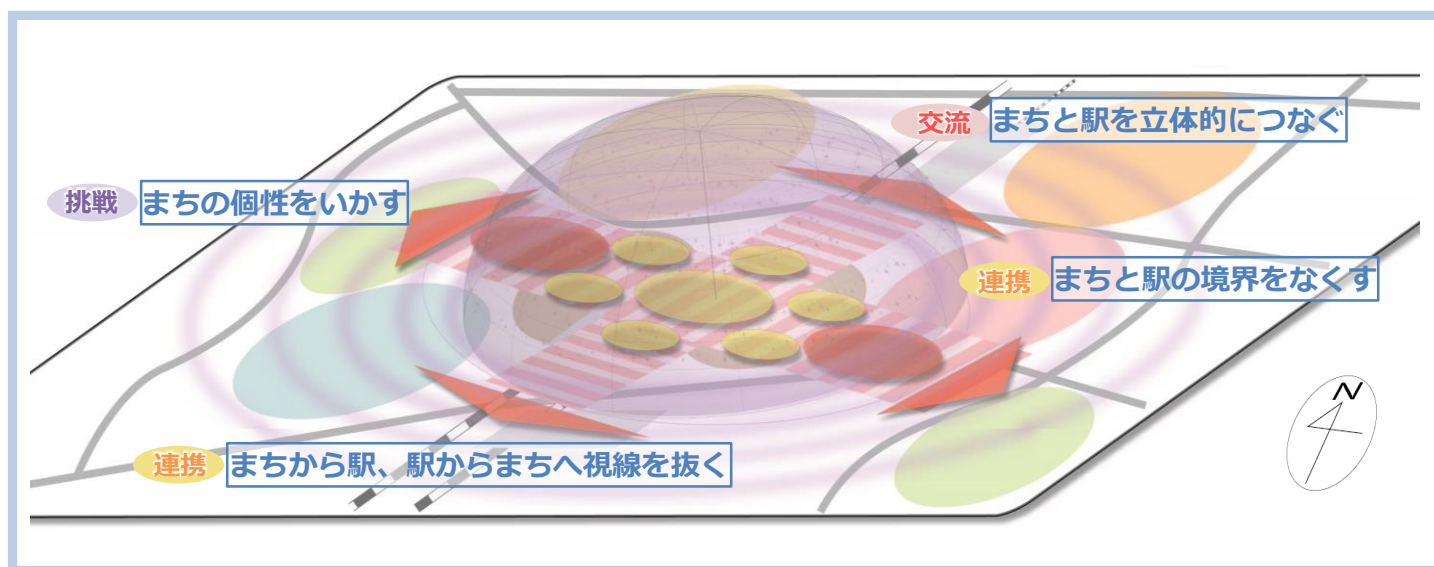


IV 交流軸・連携空間のつくり方

○交流軸のつくり方



○連携空間のつくり方



○まちと駅を立体的につなぐ

○まちと駅の境界をなくす

○まちから駅、駅からまちへ視線を抜く

○まちの個性をいかす

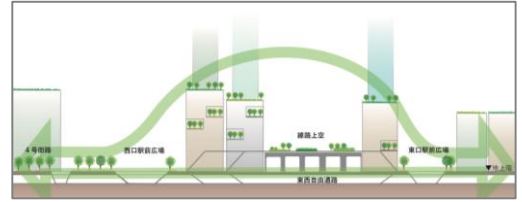
V グランドターミナルの主要な建物のづくり方

みどり

グランドターミナルの再整備方針

方針 6 グランドターミナルの各所に人が佇みたくなる空間とみどりを創る

- Ⅲ. 新宿中央公園と新宿御苑を結びつけるみどりの塊をグランドターミナルの各所に創出
- ▶ 様々な場所でみどりを感じられるよう、地上、デッキ、建物の中間階・屋上等にみどりを重層的に配置



▲重層的なみどりのイメージ

建物の表情・形状

グランドターミナルの再整備方針

方針 7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- Ⅱ. 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
- ▶ ターミナル軸のうち駅前広場に面する部分には、連続的な人の流れが感じられるような設えを用意
 - ▶ 新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する部分には、賑わい・憩いの連続性が感じられる設えの用意 (内部が見えるファサード、誰もが利用できるバルコニー等)
 - ▶ 吹き抜け空間の淵・天井などのデザインを合わせるなど、一体的な印象を生む景観を形成



【凡例】

新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する部分の賑わい・憩いを感じられる設え

夜景

グランドターミナルの再整備方針

方針 7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- Ⅱ. 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
- ▶ 観光客や買物客、就業者などが、夜間までまちの中で活動的に楽しめる機会を生み出すため、効果的なライトアップやプロジェクションマッピングなどの設えを用意



【凡例】

新宿セントラルプラザや駅前広場における夜間のライトアップなどの設え

新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する建物における夜間のライトアップなどの設え

遠景

グランドターミナルの再整備方針

方針 7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- Ⅲ. 遠方から視認できる、新宿らしいスカイラインの形成
- ▶ 主要な場所からの見え方に配慮し、既存の超高層ビル群と一団のスカイラインを形成 (主要な場所の例：六本木ヒルズ、サンシャイン池袋、文京シビックセンター、東京タワー等)



▲主要な場所の例

新宿セントラルプラザ

■デザインコンセプト

グランドターミナルの再整備方針

方針 4 グランドターミナルの顔となるプラザ・テラスを整備する

- I. グランドターミナルのシンボルとなる新宿セントラルプラザの整備
 - ▶ JR線路上空に、グランドターミナルの核となる広場空間を創出
- III. 新宿テラスからまちの各所に視線が抜ける空間（新宿View）を確保
 - ▶ 新宿テラスからまちの各所が望める空間を確保
 - ▶ まちの各所から駅が存在がわかる空間を確保

方針 5 グランドターミナルに新たな機能を誘導・導入する空間を創出する

- I. 新宿セントラルプラザに公益的な活動交流空間（新宿ラボ）を創出
 - ▶ 新宿セントラルプラザに、新宿らしい新たな活動が常に展開されている場を創出
- IV. 安心して過ごせる空間の確保
 - ▶ 安全な滞留空間の確保や安全な場所への複数経路の整備
 - ▶ 軽傷者等の応急手当が可能な空間や設備の充実

方針 6 グランドターミナルの各所に人が佇みたくなる空間とみどりを創る

- II. 交流軸やエントランスに沿って連携空間※を創出
 - ▶ 交流軸（東西骨格軸、ターミナル軸）やエントランスやターミナルシャフトに沿って、各所に人が佇むことができる空間を創出

方針 7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- II. 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
 - ▶ ターミナル軸のうち駅前広場に面する部分には、連続的な人の流れが感じられるような設えを用意
 - ▶ 新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する部分には、賑わい・憩いの連続性が感じられる設えの用意（内部が見えるファサード、誰もが利用できるノリコニー等）
 - ▶ 吹き抜け空間の淵・天井などのデザインを合わせるなど、一体的な印象を生む景観を形成

■空間形成方針

- 1 新しい新宿のイメージとなる象徴的な広場
- 2 まちとまちをつなぐ東西骨格軸と鉄道の南北軸を連携する広場
- 3 人と自然のためのシェルターとなる広場

- 空間イメージ

西ゾーン

■デザインコンセプト

超高層ビル街区を象徴するダイナミックな「立体都市広場」の形成

立体都市広場：スカイコリドー、エントランス、駅前広場が一体となった立体的な広場空間

グランドターミナルの再整備方針

方針4 グランドターミナルの顔となるプラザ・テラスを整備する

- II. デッキから地下までを結ぶ新宿テラス（East・West・North）の整備
 - ▶ 交流軸を象徴し、広場と建物为一体となって、グランドターミナルの顔となる空間を東西南北に配置
 - ▶ デッキから地下まで人の動きが立体的に感じられる、視認性の高い広場空間の整備
 - ▶ 離れた場所からも存在がわかるデザインを誘導
- III. 新宿テラスからまちの各所に視線が抜ける空間（新宿View）を確保
 - ▶ 新宿テラスからまちの各所が望める空間を確保
 - ▶ まちの各所から駅の存在がわかる空間を確保

方針5 グランドターミナルに新たな機能を誘導・導入する空間を創出する

- II. 新宿テラスに鉄道沿線の多様な機能を融合する空間（地域連携ラボ※）を創出
 - ▶ 新宿テラスに、鉄道沿線での観光情報やイベント・地域活動情報など、様々な情報やサービス、活動が展開されている場を創出

方針6 グランドターミナルの各所に人が佇みたくする空間とみどりを創る

- I. 駅がわかるエントランスの創出
 - ▶ 周辺から駅の位置が視認できるエントランスの整備
 - ▶ エントランスには、人が行む場と共に、人の動きが立体的に感じられる視認性の高い空間を創出
- II. 交流軸やエントランスに沿って連携空間※を創出
 - ▶ 交流軸（東西骨格軸、ターミナル軸）やエントランスやターミナルシャフトに沿って、各所に人が行むことができる空間を創出

方針7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- I. 西口立体広場のポイド等を継承・発展し、グランドターミナルからまち全体に展開
 - ▶ 西口駅前広場については、現在の立体広場の持つ空間特性や考え方を継承・発展し、ポイドを広場の中心に据えた空間を形成
 - ▶ 立体広場の持つ空間特性や考え方を新宿のまち全体に発展させ、地上・地下・デッキをつなぐポイドを各所に展開することで、新たな新宿らしい景観を形成
- II. 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
 - ▶ 新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する部分には、賑わい・憩いの連続性が感じられる設えの用意（内部が見えるファサード、誰もが利用できるVRレコニー等）
 - ▶ 吹き抜け空間の淵・天井などのデザインを合わせるなど、一体的な印象を生む景観を形成

■空間形成方針

1 南北400mをつなぐスカイコリドー

- 南北400mにわたり様々な活動が展開される中高層部の空中回廊及びデッキ階の歩行者回廊
 - ・地域連携ラボ、賑わい施設を空中回廊及びデッキ階の歩行者回廊に沿って整備する。
- 周辺のまちからも存在がわかる設え
 - ・駅前広場に面して、人の動きが見え、活動が感じられるような歩行者動線・滞留空間を整備する。
- 新宿を楽しむことができる新宿ビューテラス
 - ・空中回廊の中央と両端に、賑わいと安らぎを生み、新宿を眺望できる空間を整備する。
- 地下から地上へ人々を引き上げるダイナミックな縦動線
 - ・重層的な駅前広場と空中回廊を一体的につなぎ存在感のある縦動線を整備する。

2 駅の存在感が表出するエントランス空間

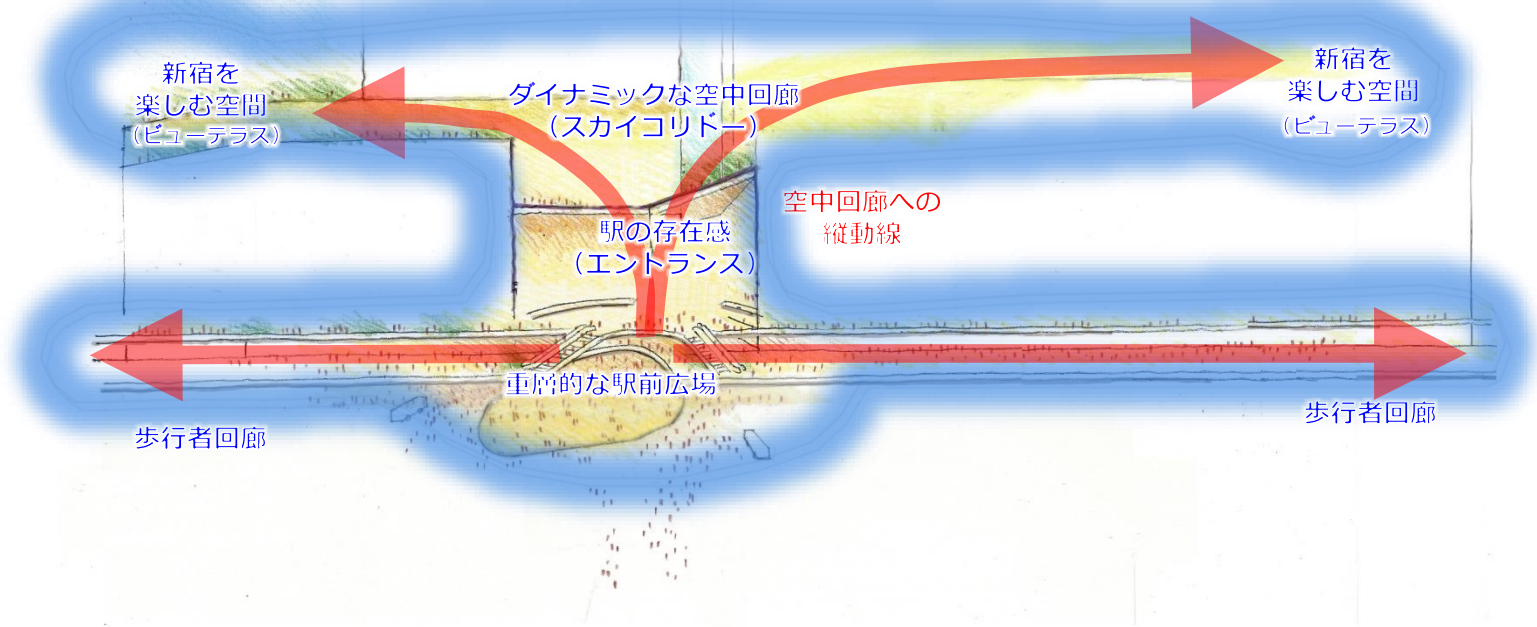
- 新宿駅の場所が一目で分かる設え
 - ・駅へと自然に誘導されるよう「新宿駅」の存在感が創出される空間、地上・地下の駅前広場から駅の改札口が見える空間を整備する。
 - ・新宿駅東口へのつながりが認識できる空間を整備する。

3 歩行者中心の重層的な駅前広場（ポイドを有する駅前広場の整備）

- 地下から東西デッキまでが一体となった歩行者空間
 - ・西口駅前広場や2階東西デッキへのゲートとなる歩行者空間を整備する。
- 「ポイド（大穴）」と「太陽と泉のある立体広場」の継承
 - ・地下に光を取り入れ、まちの都市活動が感じられる大穴を広場の中心に整備する。
 - ・自然を感じられるように、水やみどり等を立体的に配置する。
- 人々の流れを整え、人々が憩う広場空間
 - ・人の主要な歩行者動線を確保し、その周囲に人々がたたずみ、まちを感じ、賑わいを創出する滞留空間を整備する。

●立体都市広場の空間イメージ

「立体都市広場」



東ゾーン

■デザインコンセプト

グランドターミナルの再整備方針

方針4 グランドターミナルの顔となるプラザ・テラスを整備する

- II. デッキから地下までを結ぶ新宿テラス（East・West・North）の整備
- ▶ 交流軸を象徴し、広場と建物が一体となって、グランドターミナルの顔となる空間を東西南北に配置
 - ▶ デッキから地下まで人の動きが立体的に感じられる、視認性の高い広場空間の整備
 - ▶ 離れた場所からも存在がわかるデザインを誘導

方針5 グランドターミナルに新たな機能を誘導・導入する空間を創出する

- II. 新宿テラスに鉄道沿線の多様な機能を融合する空間（地域連携ラボ）を創出
- ▶ 新宿テラスに、鉄道沿線での観光情報やイベント・地域活動情報など、様々な情報やサービス、活動が展開されている場を創出

方針6 グランドターミナルの各所に人が佇みたくなる空間とみどりを創る

- I. 駅がわかるエントランスの創出
- ▶ 周辺から駅の位置が視認できるエントランスの整備
 - ▶ エントランスには、人が佇む場と共に、人の動きが立体的に感じられる視認性の高い空間を創出
- II. 交流軸やエントランスに沿って連携空間を創出
- ▶ 交流軸（東西骨格軸、ターミナル軸）やエントランスやターミナルシャフトに沿って、各所に人が佇むことができる空間を創出

方針7 新宿のレガシーを継承しながら、新たな景観を生み出す

- I. 西口立体広場のポイド等を継承・発展し、グランドターミナルからまち全体に展開
- ▶ 立体広場の持つ空間特性や考え方を新宿のまち全体に発展させ、地上・地下・デッキをつなぐポイドを各所に展開することで、新たな新宿らしい景観を形成
- II. 新宿セントラルプラザや駅前広場に面して、交流・連携・挑戦を感じさせる設えを用意
- ▶ 新宿セントラルプラザや駅前広場、交流軸に面する部分には、賑わい・憩いの連続性が感じられる設えの用意（内部が見えるファサード、誰もが利用できるバルコニー等）
 - ▶ 吹き抜け空間の淵・天井などのデザインを合わせるなど、一体的な印象を生む景観を形成

■空間形成方針

- 1 まちの通りと連続した歩行者空間
- 2 駅の存在感が表出するエントランス空間
- 3 新たなポイドの創出

- 空間イメージ